

「持続可能な農業」へ提案

9月17日から福岡市で「資材・技術一堂」

「九州アグロ・イノベーション九州みどりの食料システムEXPO2025」が9月17日から2日間、福岡市のマリノメッセ福岡B館で開かれる。環境配慮やスマート農業など、持続可能な農業に向けた資材や技術を幅広く展示。農水省や農研機構、九州大学などの講演を予定する。

九州アグロ・イノベーション

日本能率協会が主催。JAグループ福岡やJAグループ鹿児島、JAグループ宮崎などが後援する。240社以上が出席。スマート農業、暑さ対策、鳥獣被害対策・シビエ（野生鳥獣の肉）利活用、草刈り・除草など、各分野での課題解決に役立つ資材や技術を紹介する。

スタートアップエリアとして、農研機構や九州大学農学部、福岡県農林業総合試験場が出席。最新の情報を発信する。企画展示では農業イノベーションと

取締役が登壇する。この他、福岡県内で最大規模の稲作経営を行う遠藤農産の遠藤幸男代表が、土地利用型農業でのスマート化実践について講演する。同日、外食・宿泊・観光業界向けの専門展示会も開催。みどりの食料システムEXPOと併せて、九州から東アジアへの輸出に向けた食品や飲料を一堂に集め紹介する。「九州ブランドステーション」として、アジア地域で人気の和牛と日本酒・焼酎、日本茶をテーマに出展製品を活用しつつ、オリジナルのレシピやペアリングの提案を行う。（小林千哲）

農協観光九州支店は「九州アグロ・イノベーション九州みどりの食料システムEXPO2025」に合わせて、無料の日帰りバスツアーを企画する。17日は福岡県内発の3コース、18日は佐賀と大分・福岡（朝倉）発の2コースの計5コースを設けた。会場内にあるキッチンカーで使える無料チケットも配布する。申し込み締め切りは29日まで。

17日の福岡県内の3コースのうち、AコースはJAふくおか八女八女西支店発。西鉄久留米駅、JR鳥栖駅、J

無料、29日まで受け付け

日帰りバスツアー

農協観光九州支店

Aみい本店を経てマリノメッセに向かう。BコースはJA福岡京築発でカホテラスを經由。CコースはJR小倉駅新幹線口発で、黒崎インター引野口バス停を通る。

18日の佐賀のコースは、佐賀県JA会館（別館）から出発し、JAさが神崎支所を經由。大分・福岡（朝倉）コースはJAおおいた本店発。JAべっぴん日出本店、道の駅童話の里くす、明星書店跡地（日田市）、JA筑前あさくら甘木中央支店を通る。

問い合わせは同支店、電092（711）7005。（小林千哲）

して、収益と環境配慮を両立する最新技術を取り上げる。講演プログラムも充実させた。18日には、3人の若手農家が登壇し、希望や課題を語るパネルディスカッションを開催。福岡県糸島市の稲作農家・株式会社社井田の井田和良取締役と小郡市で野菜を栽培するRUSHFARMの永利侑太郎取締役、鹿児島県錦江町で畑作経営する南州エコプロジェクトの大野徹

この他、福岡県内で最大規模の稲作経営を行う遠藤農産の遠藤幸男代表が、土地利用型農業でのスマート化実践について講演する。同日、外食・宿泊・観光業界向けの専門展示会も開催。みどりの食料システムEXPOと併せて、九州から東アジアへの輸出に向けた食品や飲料を一堂に集め紹介する。「九州ブランドステーション」として、アジア地域で人気の和牛と日本酒・焼酎、日本茶をテーマに出展製品を活用しつつ、オリジナルのレシピやペアリングの提案を行う。（小林千哲）